

情報と議論の見える化を置いてほしい。白紙からやり直しとなった新国立競技場の建設である。二〇二〇年東京五輪・パラリンピックの主役は国民、アスリート。みんなに祝福されるひのき舞台を。

新国立競技場

途方もない値段に膨らんだ工費が、世論の強い怒りを買った旧計画だった。政府は内閣を挙げて切り直す姿勢を示し、関係閣僚会議を発足させて動きだした。

安倍晋三首相はコストを抑えた最良の計画をつくる
と約束した。失態を
省みて、全過程を公
開し、説明を尽くし、幅広い合意
を得る努力が欠かせない。

政府は九月には規模や仕様、工費、工期などを盛り込んだ新たな整備計画をつくり、デザインと設計、施工を一括して選ぶ国際競争入札をする。事業者の決定、発注は年明けになる見通しである。

残り時間は短い。しかし、白紙からの見直しを宣言したからに

は、結論ありきで整備計画をまとめては再び世論の反発を招く。

振り返れば、旧計画に基づく工費が高騰した背景には、事業主体の日本スポーツ振興センター（JSC）に置かれた有識者会議からの多岐にわたる要望があった。

コンサートや行事を開くための

まで出された幾多の注文もすべて見直すのが筋である。

今度の計画づくりは、蚊帳の外に置かれてきた国民の声に耳を澄ます最後の機会だ。

神宮の森と相和す簡素なスポーツ文化の空間を請う人たちが、東日本大震災からの復興を願って挑戦するアスリートたちの切実な思いもある。立ち退きを迫られる近隣住民たちの気持ちもある。政府は十分に尊重せねばならない。

情報・議論 オープンに

新競技場をめぐる

迷走劇には終止符が打たれたが、多くの

公開式屋根、サッカー・ワールドカップ（W杯）の招致を期した八万人収容…。政界、音楽界、スポーツ界などの利益代表よろしく委員らから相次いだ催促に応えた結果、構想が肥大化してしまった。

遠藤利明五輪相をトップに据えて、官邸主導で新競技場を造るの

だから、有識者会議はもはや不要になった。しからは、同時にこれ

公金と長い時間を浪費した顛末の責任は厳しく問われるべきだ。JSCを監督する文部科学省は第三者機関を設けて検証を委ねるとい

うが、お手盛りは許されない。
東京五輪・パラリンピックの本番まで五年。損なわれた日本の信用を取り戻し、世界中の人たちが夢と希望と感動を分かち合えるメーンスタジアムに仕上げたい。